

校長室より

「天空高き」



第128号



令和元年12月6日

2学期を振り返る

2学期は運動会に始まり、楽学祭、姉妹校のオーストラリアサザンクロス校との短期交流会、S1オーストラリア修学旅行、F1大学・企業見学、F2インターンシップ等々、たくさんの行事がありました。そしてその行事の間に、中間考査や期末(卒業)考査がありました。また、運動部・文化部に所属している諸君は、大事な大会が目白押しだったと思います。

これらの行事を通して、皆さんは①確かな学力(知)②豊かな人間性(徳)③健康・体力(体)の力を身に付けてゆきます。皆さんにとってこの知・徳・体の力をバランスよく身に付けることが大切です。特に、これから皆さんが生きていく社会は、より複雑で予測困難な時代となります。皆さん一人ひとりが、よりよい社会と幸福な人生を切り拓くためにも、この知・徳・体のバランスのとれた力が大事になってきます。

今学期を振り返った時、多くの皆さんは、うまく行ったことよりも、うまく行かなかったことの方が多かったと思います。大事なことは、なぜうまく行かなかったかを自分なりに考え分析して、次のステップに活かすことです。

発明家のトーマス・エジソンはこんな言葉を残しています。「失敗?これはうまくいかないということを確認した成功だよ」

失敗をどう前向きに捉えるかで、皆さんの生き方も随分と変わると思います。今の皆さんにとって必要なことは、何事に対しても興味関心を持ち、チャレンジし続けることです。

12月の月間目標

振り返る

令和元年度
チャレンジ目標

- 1 挨拶 先に明るく元気に
- 2 先を見据えた行動 5分前行動
・登下校のマナーに心掛ける
- 3 整理整頓
- 4 1%を誰かのために

人生は善いことを想い、善い行いをすれば、良い人生になれる

ラグビー日本代表ベスト 8 の秘密—W杯日本大会—

今回のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会は、日本代表が予選で強豪アイルランドやスコットランドを撃破し、初の決勝トーナメントに進出しました。残念ながら優勝した南アフリカ共和国に敗れましたが、初のベスト 8 に輝き、大いに日本列島を熱く盛り上げてくれました。

今回の W 杯では日本代表選手 31 人中、15 人が海外出身選手でした。

文化や歴史、価値観などが異なる多国籍チームでありながら、「ONE TEAM」として強固に結束できたからこそ、今回の素晴らしい結果につながったと思います。



では、なぜ、多国籍チームの日本代表が、チーム一丸となって闘えたのでしょうか。そのヒントが右上の写真にあると思います。

この写真は対アイルランド戦での国歌斉唱のものです。赤白の桜のジャージを着た選手たちが全員肩を組み、万感の思いを込めて「君が代」を斉唱しています。

日本代表チームは今年7月のW杯に向けた宮崎合宿最終日。代表メンバーは、選手自らの発案で、宮崎県日向市の大御神社を訪ね、そこに祀（まつ）られている国内最大級の「さざれ石」を見学し、その石の説明を聞き、全員で「君が代」を斉唱したそうです。

「さざれ石」とは、君が代の歌詞「さざれ石の巖となりて」の「さざれ石」です。「さざれ石」とは、「小さな石ころが粘土や砂と混じり、長い年月をかけて大きくなったもの」です。

ジェイミー・ジョセフ・ヘッドコーチは「いろいろな文化、国籍の選手がいる。あそこに行くことによって、日本の文化に自ら触れてもらうことが大事だったと思う。特に外国人選手たちは、いろいろ感じたと思う」とその意義を説明しています。

また、リーチマイケル主将は、「国歌の意味まで知ることが日本代表だと思います」と語り、君が代を学ぶ意義について述べています。

母国は南アフリカですが、日本代表のピーター・ラブスカフニ選手は「小さな石が一つの大きな岩になるのは、まさにわれわれがやろうとしていること。（メンバー）一丸でゴールに向かいたい」と日本代表として団結することの大切さを説いています。

彼らは日本国歌の歌詞の意味を学び、共に歌うことで、日本国を代表する責任感やチームへの帰属意識を持ち、スローガンである「ONE TEAM」として強固に結束し、今回の素晴らしい結果を生んだと思います。

本校でも式典や運動会などの学校行事、全校朝礼などで校歌を斉唱します。校歌の意味を知り、共に声高らかに歌うことで、本校への帰属意識や一体感が醸成されていき、より充実した学校生活を送ることができます。

君が代は 千代に八千代に さざれ石の 巖となりて 苔のむすまで

ちょっと一息—世界で一番短い国歌、長い国歌は？—

国連には 193 カ国が加盟しています。それぞれの国に国歌がありますが、メロディーや曲の長さもそれぞれの国によって色々です。国歌の歌詞には国の成り立ちや、超えてきた歴史、根本的な考え、宗教観が盛り込まれているようです。

世界で一番、長い国歌と短い国歌について調べてみました。

まず長い国歌から。世界で一番長い国歌としてよく名前があがるのがギリシャです。歌詞は 158 節まであり、フルバージョンで歌うと間奏を入れて 55 分ほどだそうです。内容はギリシャの歴史にまつわる一大叙事詩—だそうです。

では一番短い国歌は？—というと、フルバージョンで 1 分弱の『君が代』である可能性が高いそうです。

世界最高の大学、ミネルバ大学—いったい何を学ぶのか—

イギリスの高等教育専門誌

「THE (Times Higher Education)」は 2020 年の「THE 世界大学ランキング」を発表しています。

92 カ国 1300 校以上をランク付けしており、10 位までは右記の通りです。日本からは東京大学と京都大学が引き続きトップ 100 入りし、東京大学は順位を 6 つ上げて同率 36 位、京都大学は前年と同じ 65 位でした。

「THE世界大学ランキング2020」トップ10の大学

2020の順位	2019の順位	大学名	国
1	1	オックスフォード大学	イギリス
2	5	カリフォルニア工科大学	アメリカ
3	2	ケンブリッジ大学	イギリス
4	3	スタンフォード大学	アメリカ
5	4	マサチューセッツ工科大学	アメリカ
6	7	プリンストン大学	アメリカ
7	6	ハーバード大学	アメリカ
8	8	イェール大学	アメリカ
9	10	シカゴ大学	アメリカ
10	9	インペリアル・カレッジ・ロンドン	イギリス

Times Higher Education (THE)

しかし、世界のトップ 10 に入っている、ハーバード、スタンフォード、ケンブリッジなどの名門大学を辞退して進学している大学があります。まだ卒業生がいなくてもかわらず、世界中の有名企業が絶賛し、すでに最も入学が難しいとも言われ、世界のエリートが一番入りたいたいと言われているのが、アメリカに拠点を置く「ミネルバ大学」です。

ミネルバ大学は 2014 年 9 月に開校した全寮制の 4 年制総合大学で、2019 年 9 月現在、約 600 名（約 120-200 名/学年）の生徒が学んでいます。

この大学の特徴は①校舎がなく 4 年間で世界の 7 都市—1 年目サンフランシスコ（米国）、2 年目ソウル（韓国）、ハイデラバード（インド）、3 年目ベルリン（ドイツ）、ブエノスアイレス（アルゼンチン）、4 年目ロンドン（英国）、台北（台湾）—をめぐり、②教師は講義もテストもしない、③全寮制なのに、授業はすべてオンラインです。

そして、ミネルバ大学での学びの特色は、1 年次の「カリキュラム」です。カリキュラムは、以下 4 つのテーマに沿って全てが組み立てられています。

- ① どうすれば社会の重要な課題を発見できるか。
- ② 課題に対するクリエイティブ(創造的な)な解を見つけられるか。
- ③ 解を実現可能なレベルに落とし込めるか。

④課題と解について人に上手く伝達できるか。

これらの過程を経て、それぞれの専攻を2年次に決定。基礎学習を経て専攻を選び更に深まっていく年次ごとの学びに合せて、どの都市でどの年次を迎えるのが一番ドラマティックかというストーリーも、大学側はきちんと考えているそうです。

滞在する各都市では、その地の企業や団体でのプロジェクト学習、インターンなどが行われ、前述の4つの技能を深く身につけることができるそうです。

これからの社会は複雑で予測困難な時代に突入しており、皆さんは膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められています。だからこそ、ミネルバ大学のような教育が求められているのだと思います。しかし、こんな環境で学ぶことができるということは、本当に素晴らしいですね。ちなみに2014年の入学生に日本人もいたそうです。

季節を感じ取るー紅葉シーズンを終えてー

令和元年も後一月あまりとなりました。

「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。漢字の「令」は「美しい (beautiful (ビューティフル))」、
「和」は「調和 (harmony (ハーモニー))」をそれぞれ意味し、「令和」英語に翻訳すると、「beautiful harmony」だそうです。

先日、錦帯橋を渡って久しぶりに、紅葉谷公園に行ってきました。見事な紅葉で、多くの観光客でにぎわっていました。

皆さんは紅葉狩りに行ってきましたか。忙しくてその機会がない人は、学校周辺の山々の紅葉を楽しんでください。ちょっと私たちの身の周りを見渡せば、小さな秋を至る所で感じ取ることができます。

ありがたいことに、私たちが住んでいる日本列島には四季があります。そして、「春」「夏」「秋」「冬」のそれぞれが、美しい自然の景色を楽しませてくれます。時に、四季の移り変わりを感じながら日々を過ごしていることを大切にしてください。



24節気

大雪 (たいせつ) 12月7日頃。※「おおゆき」ではなく「たいせつ」と読みます。

山岳だけでなく、平野にも降雪のある時節ということから大雪といわれた。本格的に雪が降り始めるころです。このころになると九州地方でも初氷が張り、全国的に冬一色になります。スキー場がオープンしたり、熊が冬眠に入るのもこのころ。鱒(ぶり)など冬の魚の漁も盛んになります。

冬至 (とうじ) 12月22日頃

太陽が軌道上の最も南に来るときで、夏至と反対に、夜が最も長く、昼が短い日。夏至から徐々に日照時間が減っていき、南中の高さも1年で最も低くなることから、太陽の力が一番衰える日と考えられてきました。冬至は「日短きこと至る(きわまる)」という意味。中国では、この日から新年の始まる日とされ先祖を祀る習俗がありました。